

第3回水戸市原子力防災対策会議の質問について

発電所の安全対策に関する御質問

- ① 原子力災害時に、周辺住民や水戸市は、どういう防災対策をとるべきなのか。住民視点で説明していただきたい。
また、事故発生後、どのくらいの時間で避難をする可能性があるのか。多様な研究、論文も参考にしながら、放射性物質の具体的な放出量の想定なども含めて、事故後の想定を時間軸で示していただきたい。
- ② 原子力事故が発生した場合、人員体制が重要となる。例えば、津波や地震など、複合災害が起きた場合に、格納容器やフィルタベント等の重要な機器を守りながら、その他の災害対応を行うだけの人員が確保できているのか。対応に何人必要で、現状でどのくらい人数に余裕があるのか、また、そういう人材を将来に渡って、きちんと確保する見込みをどういう風に立てているのかを示していただきたい。
- ③ 原子力発電専門の電力会社として60年余が経過し、第一世代に加え第二世代の社員もリタイアしていく中で、次世代に対しどのように技術とパイオニア精神を伝承していくものかお聞かせいただきたい。
- ④ 事故とは予め想定できないからこそ事故とされていますが、安全審査における想定を超える事態に対してはどのように対応されるのか、基本的な考え方をお聞かせいただきたい。
また、想定を超える事態への対処訓練をどのように行うものか、具体的にお聞かせいただきたい。
- ⑤ 安全審査における想定される事故に対しては、二重三重の対応措置が講じられているとのことですが、安全対策の説明に当たっては、その旨、図面等を用いて一貫した形で分かり易く説明していただきたい。

発電所の今後、補償等に関する御質問

- ⑥ 原子力発電所が稼働していなくとも、停電になることはなかった。企業として、再稼働を目指す意義やメリットをどう考えているのか。また、日本原電は他の電力会社と違い、原子力に特化した事業所である。現状では、今後、永続的に続くとは考えにくい原子力発電のみを担う企業として、どのようなフィロソフィーや将来ビジョンを持っているのか。財政的な観点も含めて説明いただきたい。
- ⑦ 新聞で見たが、安全対策工事費が1,740億円、国が設置を義務化したテロ対策施設「特定重大事故等対処施設」の工事費を含めると3,000億円になる可能性があると言われている。かなりの費用をかけて再稼働することになるが、メリットはあるのか。

⑧ 損害賠償等について、どのような仕組みになっているのか説明いただきたい。

その他の御質問、御意見

⑨ 再稼働を巡る問題については、この地域だけではなく、静岡県浜岡発電所など、原子力発電所が立地する他地域でも議論がされている。他地域では、どのようなことを気にしているのか。そういった視点についても説明していただきたい。

⑩ 本年度開催した住民説明会における県民からの質問と回答要旨について、件数と併せて一覧表に整理のうえお聞かせいただきたい。

⑪ 日本は、地震が頻繁に起こっており、いつ想定外のことが起こるか分かりません。高齢化社会が進んでいる現在、福島のような原発事故が起きたら広域避難、保障問題と住民のリスクが大きいです。また、避難先での生活も大変です。人間の命、子ども達の未来のことを一番に考えてほしいです。

⑫ 再稼働については、原子力規制委員会で抜き打ち検査をしてもらった方がよいと思います。